BIWAICHI DAY & WEEK
5th Anniversary

ビワイチフォーラム

ビワイチをつなぐ。

～ 人・地域・未来をつないだ歩みと、次の５年への挑戦 ～

2026.
11.3 火・祝
13:30 ～ 16:30
（開場 13 時）

びわ湖大津プリンスホテル
コンベンションホール　淡海 9･10
（滋賀県大津市におの浜４丁目 7-7）

参加無料
先着 150 名

参加申込はこちら

基調講演
ビワイチの価値を未来へ
― ナショナルサイクルルートから
次のステージへ ―

高橋 幸博 氏
株式会社アーチ・
ヒーロー北海道
代表取締役

第１部　日本の中心からサイクリングを考える

■ 特別メッセージ　宮本 和宏 氏　参議院議員

■ 特別メッセージ　目片 信悟 氏　滋賀県議会議員

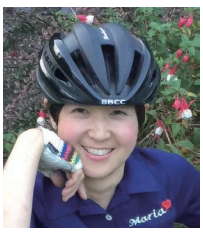
基調講演　ビワイチの価値を未来へ　― ナショナルサイクルルートから次のステージへ ―　高橋 幸博 氏

第２部　パネルトーク「ビワイチを未来へつなぐ ― 次の５年への挑戦 ―」

パネラー

高橋 幸博 氏
株式会社アーチ・ヒーロー
北海道 代表取締役

野村 文彦 氏
国土交通省 道路局
自転車活用推進本部事務局
自転車活用推進官



徳永 真理亜 氏
茶丈藤村 店主

藤本 芳一 氏
輪の国びわ湖推進協議会
会長／自転車ライフ
プロジェクト 代表

中嶋 洋一 氏
滋賀県 観光政策局長

コーディネーター

山中 英生 氏
徳島大学 名誉教授

主　催　滋賀県、滋賀プラス・サイクル推進協議会

お問合せ　ビワイチ・フォーラム事務局（歴史街道推進協議会）　TEL：06-6223-7745（平日 10:00 ～ 17:00）　E-mail：r-kaido@rekishikaido.gr.jp

BIWAICHI DAY & WEEK
5th Anniversary

ビワイチ・フォーラム

ビワイチをつなぐ。 ～人・地域・未来をつないだ歩みと、次の５年への挑戦～

2026.11.3 火・祝　13:30～16:30（開場 13 時）　びわ湖大津プリンスホテルコンベンションホール　淡海 9･10

ビワイチの日制定からはや５年。

琵琶湖を自転車で一周することはもちろん、自転車で滋賀県全体を周遊し、各地の魅力を楽しむ「ビワイチ」。多くの人や地域に支えられながら、滋賀を代表するサイクルツーリズムへと成長してきました。
この節目に、これまでの歩みを振り返り、ビワイチの魅力や可能性をあらためて見つめるとともに、これからの５年を考えます。
もっと多くの人に楽しんでもらうために。地域をもっと元気にするために。そして、自転車とともに滋賀の新しい魅力を育てていくために。
走る人、迎える人、支える人――さまざまな立場の人が集い、語り、会場のみなさんと一緒に「これからのビワイチ」を考えるフォーラムです。

基調講演・パネラー

高橋 幸博〈たかはし ゆきひろ〉氏

株式会社アーチ・ヒーロー北海道 代表取締役
サイクリングツアー・スキーツアーガイドコンシェルジュ
地域・事業プロデューサー
国土交通省 令和３年度自転車利用推進功績者
国土交通省ナショナルサイクルルート選考委員
北海道美唄市役所にて土木技術職として従事。退職後、海外 20 ヵ国で主に都市、農村デザイン、スキーリゾートを見回る旅を実施。
インバウンド、観光コンテンツつくり、受け入れ商品つくりの知見をいかして、観光庁 VJ 地方連携事業、経産省のちいきのじまんづくりプロジェクトの北海道担当プロデューサーとして地域振興、観光商品つくりに関わる。
サイクルガイド事業者と北海道サイクルツーリズム推進協会を設立。難しい産官学民としての事業プロデュース、理念作り、交流事業を推進中。

パネルトークコーディネーター

山中 英生〈やまなか ひでお〉氏

徳島大学 名誉教授
大学院 社会産業理工学研究部・研究部長顧問
1957 年生まれ京都市出身。1980 年京都大学卒、大学院を経て 1983 年より京都大学助手、1989 年徳島大学短期大学部助教授を経て 1997 年徳島大学教授、2020 年同大学理工学部長、2022 年同大学社会産業理工学研究部・研究部長，2026 年より現職
自動車がゆっくり走るデザインのコミュニティ道路開発にかかわったのが研究の始まり。以後、人や自転車の交通安全、公共交通、市民参加などの研究に携わる。国土交通省と警察庁による「安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討委員会」委員としてガイドラインの発出に参画、自転車活用推進本部ナショナルサイクルルート審査委員、徳島県・愛媛県・兵庫県・庫県・奈良県・徳島市・鳴門市・三木市等の自転車活用推進計画策定に参画。徳島大学においてサイクルツーリズム講座を開設している。

パ　ネ　ラ　ー

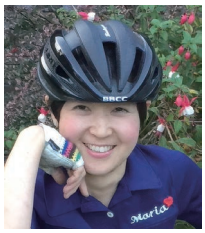
野村 文彦〈のむら ふみひこ〉氏

国土交通省 道路局 自転車活用推進本部事務局 自転車活用推進官
2010 年に国土交通省入省。
道路局をはじめ、国土技術政策総合研究所、九州地方整備局、水管理・国土保全局、近畿地方整備局などにおいて、主に道路政策の企画・立案や道路の計画・整備・管理に関する業務に従事。
2026 年４月より現職。

藤本 芳一〈ふじもと よしかず〉氏

輪の国びわ湖推進協議会 会長
自転車ライフプロジェクト 代表
JapanVelo シニアアドバイザー
自転車マップ作りを中心に、自転車の良さを多くの人に伝え、自転車のファンと適正な利用者を増やしていくための活動を行っている。
これまでに日本全都道府県と海外69ヶ国を自転車で走る。共著に『ビワイチ公式ガイドブック びわ湖一周・滋賀じてんしゃ旅』（八重洲出版）『サイクルツーリズムの進め方　自転車でつくる豊かな地域』（学芸出版社）等。

徳永 真理亜〈とくなが まりあ〉氏



石山観光株式会社 茶丈藤村 代表取締役社長
大津市生まれ、大津市育ち。
1995（平成７）年、石山寺門前に和菓子と甘味の店「茶丈藤村」をオープン。
以来 30 年以上にわたり店頭に立ち、地域を訪れる人々を迎えている。
自身も自転車を楽しみ、学生時代からの経験を含め、琵琶湖一周は約 10 回。
店舗では、バイクラックの設置や水・氷を無料で補給など、サイクリストにやさしいサービスを提供。

中嶋 洋一〈なかじま よういち〉氏

滋賀県観光政策局長
平成７年滋賀県庁入庁。庁内各課を経て、令和の時代に入り、「ここ滋賀」副所長として首都圏における本県の観光・物産に係る魅力発信に従事した後、CO_2 ネットゼロ推進課、琵琶湖保全再生課長、商工政策課長、企画調整課長を歴任し、令和 8 年度より現職。来年秋に控える大型観光キャンペーン「滋賀デスティネーションキャンペーン（DC）」を見据え、琵琶湖をはじめとする豊かな自然と歴史・文化を活かした持続可能な観光振興に取り組む。また、ビワイチをはじめとするサイクルツーリズムを周遊観光や環境共生、地域経済を循環させる核と捉え、自転車を通じて世界から愛される滋賀を目指す。